



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 ワタベウェディング株式会社

コード番号 4696 URL <http://www.watabe-wedding.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 花房 伸晃

問合せ先責任者 (役職名) グループ管理本部長 (氏名) 平木 親臣 TEL 075-778-4111

四半期報告書提出予定日 平成29年8月1日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	11,493	3.7	446	54.5	459	—	302	—
29年3月期第1四半期	11,086	△2.3	289	—	23	△83.6	12	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 254百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △414百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	30.57	—
29年3月期第1四半期	1.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	20,823	10,744	51.3
29年3月期	21,336	10,540	49.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 10,683百万円 29年3月期 10,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成30年3月期の第2四半期末及び期末配当予想額は未定としております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	2.5	100	△90.0	200	△70.4	100	△19.1	10.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当ブライダル業界は婚礼の施行時期に季節的変動があり、当社は業績管理を年次で行っていることから、第2四半期連結累計期間については業績予想の開示を行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	9,909,400株	29年3月期	9,909,400株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	451株	29年3月期	451株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	9,908,949株	29年3月期1Q	9,909,074株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料等に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における運営状況と経営成績について、「リゾート挙式」におきましては、主力エリアであるハワイにおいて、平成29年4月に“大人の社交場”をテーマとしたパーティ会場「ザ・バンケットハーバーコート」、5月には「プリンスワイキキ」の33階にハワイで唯一のスカイビューチャペルとなる「ラニレアチャペル」をオープンし、さらに、人気の高いワイキキエリアのホテルとのコラボレーション挙式商品を発表するなど、多様化するニーズに応える商品ラインナップを取り揃え、販売を強化してまいりました。また、年間婚姻組数の約40%を占めるといわれる結婚式をしない「ナシ婚」と呼ばれるカップルなど、これまでの店舗での接客販売手法では取り込めなかった顧客層へ向けて、「手軽」「低価格」という新たなリゾート挙式の価値提案を行うべく、来店不要のオンライン限定で挙式の申し込みが完結する新ブランド「EASY by WATABE WEDDING」のサービスを5月に開始いたしました。そのような状況の中、リゾート挙式においては、競争環境の激化により、挙式取扱組数は減少する結果となりましたが、1組当たり単価の上昇や収益構造の改善等により、売上高は前年同四半期比微増、セグメント利益は改善となりました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、目黒雅叙園が平成29年4月に施設名を「ホテル雅叙園東京」へとリブランドし、5月には人気イタリアン「リストランテ カノビアーノ」を館内にオープンするなど、総合ラグジュアリーシティホテルとしてのブランド価値訴求を積極的に行い、宿泊・婚礼共に好調に推移いたしました。メルパークでは、松山・横浜の客室リノベーション効果により、単価の向上を実現するとともに、コスト構造の見直しを行いました。その結果、ホテル・国内挙式においては前年同四半期比で増収増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高11,493百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益446百万円（前年同四半期比54.5%増）、経常利益459百万円（前年同四半期 23百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益302百万円（前年同四半期 12百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

① リゾート挙式

挙式取扱組数は減少したものの、顧客ニーズに合わせた商品展開を行ったことなどにより、一組当たり単価が増加し、売上高は4,650百万円（前年同四半期比1.8%増）となったほか、利益面につきましては、挙式コストの削減に取り組んだことなどから、セグメント利益は103百万円（前年同四半期 セグメント損失39百万円）と増収増益の結果となりました。

② ホテル・国内挙式

挙式取扱組数は減少したものの、積極的なブランド価値訴求や客室リノベーションなどの効果により、売上高は6,843百万円（前年同四半期比5.0%増）となったほか、セグメント利益についても342百万円（前年同四半期比28.8%増）となり、増収増益の結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,198百万円減少し、8,262百万円となりました。これは主に売掛金が増加した一方で、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ685百万円増加し、12,561百万円となりました。これは主に建物及び構築物が増加したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ512百万円減少し、20,823百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ934百万円減少し、8,025百万円となりました。これは主に流動負債のその他の減少によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ217百万円増加し、2,054百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ716百万円減少し、10,079百万円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末に比べ204百万円増加し、10,744百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成29年5月11日発表の業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,436	4,316
売掛金	1,580	1,670
商品	276	270
原材料及び貯蔵品	398	397
その他	1,784	1,621
貸倒引当金	△15	△14
流動資産合計	9,460	8,262
固定資産		
有形固定資産		
貸衣裳(純額)	147	148
建物及び構築物(純額)	4,012	4,927
器具備品(純額)	999	1,069
土地	1,893	1,893
その他(純額)	630	178
有形固定資産合計	7,684	8,217
無形固定資産		
のれん	507	595
その他	496	471
無形固定資産合計	1,003	1,066
投資その他の資産		
差入保証金	2,666	2,767
その他	524	513
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,187	3,276
固定資産合計	11,875	12,561
資産合計	21,336	20,823
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,549	1,477
短期借入金	975	1,229
前受金	2,466	2,542
賞与引当金	626	288
その他	3,341	2,488
流動負債合計	8,959	8,025
固定負債		
退職給付に係る負債	1,050	1,047
資産除去債務	588	797
その他	197	209
固定負債合計	1,836	2,054
負債合計	10,796	10,079

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	2,578	2,832
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,792	11,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	21
繰延ヘッジ損益	25	18
土地再評価差額金	△903	△903
為替換算調整勘定	514	475
退職給付に係る調整累計額	36	26
その他の包括利益累計額合計	△308	△362
非支配株主持分	55	61
純資産合計	10,540	10,744
負債純資産合計	21,336	20,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	11,086	11,493
売上原価	3,685	3,598
売上総利益	7,400	7,895
販売費及び一般管理費	7,111	7,448
営業利益	289	446
営業外収益		
為替差益	—	38
その他	25	26
営業外収益合計	25	64
営業外費用		
為替差損	282	—
休止施設費用	—	47
その他	8	5
営業外費用合計	291	52
経常利益	23	459
特別利益		
固定資産売却益	41	2
関係会社株式売却益	60	—
特別利益合計	102	2
特別損失		
固定資産除売却損	34	1
施設店舗整理損	35	11
その他	2	—
特別損失合計	72	12
税金等調整前四半期純利益	53	449
法人税等	37	140
四半期純利益	16	308
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	12	302

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	16	308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	1
繰延ヘッジ損益	△173	△7
為替換算調整勘定	△240	△39
退職給付に係る調整額	△0	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△0
その他の包括利益合計	△430	△54
四半期包括利益	△414	254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△414	248
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	4,567	6,518	11,086	—	11,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,524	40	1,565	△1,565	—
計	6,092	6,559	12,652	△1,565	11,086
セグメント利益又は 損失(△)	△39	265	225	63	289

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額63百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	4,650	6,843	11,493	—	11,493
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,905	40	1,945	△1,945	—
計	6,555	6,884	13,439	△1,945	11,493
セグメント利益	103	342	445	1	446

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。